

安全だより

無事故・無災害を目指して

2018年度（平成30年度）（第6号）

発行日：2019/3/27

発行：福山市新涯町二丁目21番30号

（公社）福山市シルバー人材センター
安全委員会

TEL（084）953-5222

FAX（084）953-5233

2018年度（平成30年度）総括

（1）事故発生状況

今年度の事故発生件数は、3月27日時点で傷害事故12件、賠償事故12件、合計24件となり、昨年度の16件より8件増加し、過去5年間で最悪の結果となりました。

【過去5年間の傷害・賠償事故発生状況】

| 年度 | 傷害 | （途上・ 帰途） | 賠償 | 合計 |
|------|----|-------------|----|----|
| 2014 | 5 | （3） | 5 | 10 |
| 2015 | 16 | （5） | 5 | 21 |
| 2016 | 12 | （3） | 8 | 20 |
| 2017 | 9 | （2） | 7 | 16 |
| 2018 | 12 | （6） | 12 | 24 |

（2）発生状況

①傷害事故について

主な増加要因は「就業途上・帰途の事故」、「墜落・転落事故」の増加が挙げられますが、いずれも、重篤事故に繋がる事故でありました。

特に、就業途上帰途の事故は、昨年の2件から6件へと、4件も増加しており、また、被災会員の平均年齢が77.8歳、車両事故に限定した場合、79.2歳となる等、高齢化が顕著であり、事故後の

回復が懸念されます。また、墜落・転落事故は、昨年度の4件から6件へと、2件増加しています。中でも、不適切な脚立の設置による転落事故が2件発生しており、非常に危険な作業方法であったと言わざるを得ません。

【傷害事故（過去5年間の主要要因）】

| 事故の内容 | 構成割合 |
|------------|---------|
| 就業途上帰途の事故 | 35.2% |
| （内 自家用車） | （14.8%） |
| （内 自転車・徒歩） | （13.0%） |
| （内 バイク） | （7.4%） |
| 墜落・転落事故 | 25.9% |
| 転倒事故 | 16.7% |
| 合計 | 77.8% |

②賠償事故について

賠償事故については、刈払機による飛散等の事故が12件中6件を占めております。6件中4件は防護対策の未実施等による飛散事故、残る2件は地面状況の確認不足による配線等の切断事故でした。過去の統計でも賠償事故の半数が刈払機による事故であり、減少傾向が見られません。

また、「剪定鋏・トリマー等による断線」「落下や接触による賠償事故」も4件発生しており、不注意や集中力の欠如の表れと考えられます。

[賠償事故（過去5年間の主要要因）]

| 事故の内容 | 構成割合 |
|-----------------|-------|
| 刈払機による飛散事故 | 50.0% |
| 剪定鋏・トリマーによる断線事故 | 20.0% |
| 物の落下・接触による賠償 | 20.0% |
| 合計 | 90.0% |

(3) 改善策

①余裕を持つこと・無理をしないこと

年々、加齢に伴い、体力、反射神経、視力などは衰えます。また、疲れも取れにくくなり、そうなれば集中力も欠け、事故に遭いやすい、起こしやすい状態になります。

バランスのとれた食事と十分な睡眠を心掛けるとともに、危険な作業の見直しや適正な仕事（量）を行う必要があります。

すでに、適正な仕事量の提供のため、各リーダーを通じてグループ員の就業スケジュールの確認を行っておりますが、今後、就業予定表の提出依頼についても検討したいと考えております。

②グループ全体で安全対策実施

安全対策を個々のグループ員に任せきりにしてはいないでしょうか？例えば草刈の飛散対策は、防護ネットの設置等、本人だけでは対策が困難です。未対策は他のグループ員の協力が無いことを示しており、事故が発生した場合、周りの会員にも一定の責任があるのではないのでしょうか。

事故は、グループ全体で安全意識を共有し、対策を講じなければ減らすことはできません。

あらためて初心に帰り、次のことを徹底してください。

○作業前ミーティングで危険個所、作業手順を共有する。

○体力、集中力が充実している内に、危険個所や共同作業が必要な箇所から作業に取り掛かる。

○リーダー、サブリーダー等を中心に巡回し、安全対策の履行を確認する。

○作業終了時には異常やヒヤリハットの有無を確認し、次回の安全就業に繋げる。

(4) 今後の取組み

安全委員会では、今年度、安全パトロールを強化し、42グループ50箇所弱の就業先でパトロールを実施しましたが、事故の増加を防げませんでした。委員会で協議の結果、指導のあり方を見直す時期に来ているのではないかとこの意見があり、新年度は就業上のルール（就業規約、安全就業基準、適正就業取扱基準等）を見直し、併せて、適切で公正な指導のあり方を検討する予定です。

事故発生状況について

前月発行後（1月29日）、傷害事故2件が発生しています。事故の概要は次のとおりです。

[就業途上の事故（2月23日）]

自家用車で就業途上、道路は信号待ちで渋滞していた。前方車両が停車したため、速度を緩め停車したところ、後続車両に追突され、頸椎を捻挫したものの。

[脚立からの転落事故（2月23日）]

3m程度の松を10尺脚立に上り、剪定していたが、バランスを崩し、転落し、コンクリート塀で胸などを強打し、肋骨等を骨折したものの。